

FDニュースレター

FD（ファカルティ・ディベロップメント）とは、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称で、本学では、授業アンケート、FD講演会など、各種FD活動を中心に実施しています。

今回は、2020年度活動実施内容等についてお届けします。

『FDニュースレター』は、年次報告として、FDに関する情報を取り纏め、情報を共有することにより、それぞれの活動を組織的な活動へと発展させるための一助として発行しています。

2020年度 第2号 (No.9)

■ 2020年度FD活動実施報告

本学で、2020年度に実施したFD活動は下記のとおりです。

▶ FD講演会

2020年 5月30日（オンライン開催）

基調報告 「2030プランに教学的展開を重ねて」 二松学舎大学 学長 江藤 茂博

FD講演 「授業設計と成績評価ガイドラインについて」

横浜国立大学 高大接続・全学教育推進センター 准教授 安野 舞子氏

FD報告会 「IRと授業改善の関係を中心に」 - 大学教育学会参加報告 -

二松学舎大学 文学部 教授 五月女 肇志

「本学におけるハラスメント防止の取り組みについて」

二松学舎大学ハラスメント防止委員会委員長 文学部 教授 改田 明子

「授業アンケートの分析結果」 大学改革推進部・IR推進室

「科研費の応募態勢」 大学改革推進課

2020年 9月3日（オンライン開催）

FD講演 テーマ：オンライン授業のより良い授業運営に向けて

「Webex・Live Campusの機能・利用のポイント」

株式会社プリンストン 津久井 真氏

「本学学生に向けてのオンライン授業アンケート結果の概要説明」

二松学舎大学 文学部 教授 福島 一浩

「オンライン授業運営方法の紹介」

二松学舎大学 文学部 教授 松本 健太郎

教職課程センター 教授 若井田 正文

国際政治経済学部 准教授 小久保 欣哉

2021年 2月26日（オンライン開催）

FD講演 「教育現場における電子書籍の利活用」

丸善雄松堂株式会社 学術情報ソリューション事業部 川口 達也氏

「コロナ禍における学生対応について」 学生相談室 奥野 光

▶ 各種意見交換会

2020年 5月2日・16日

2020年10月7日

中国文学科FD（オンライン実施）

クラウドコンピューティングFD

2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じる中で、大学の授業がオンラインとなりました。

学生のみなさんには、『オンライン授業アンケート』にご協力いただき、率直なご意見を伺うとともに、各先生方のオンライン授業における工夫について、また、学生のみなさんに電子書籍をより活用していただくよう、非常勤講師の先生方も含めて情報共有するなど、本学の授業改善に向けたFD活動を実施しました。

■ 授業担当教員によるコメント

2016年度から、学生による授業アンケート結果の組織的活用の一環として、授業担当教員からアンケート結果に対するコメントシートの提出をお願いしています。

今回ご提出いただいたコメントシートでは、オンライン授業における様々な工夫や、学生の理解を得るための努力など、授業改善の具体的な方法が示されていました。その一部をご紹介します。

オンライン授業において、次の3点に留意して授業運営をしている。

①授業の冒頭に、受講者のリアクションペーパーの内容を匿名で紹介し、教員のコメントを加えることで、前回授業のフィードバックを確実に行う。②休憩を挟み、ノートテイクの時間を十分にとる。場合によっては、個人利用のみ可能であることをきちんと周知したうえで、板書のスクリーンショット撮影を認めている。③キーボード音と教員の説明が重ならないように配慮し、板書作成後に再度説明を行う。

文書エディタをコンピュータ上で使い、擬似的な板書による文字での説明を行ったことに高評価の指摘が複数あったため、今後も活用したいと考えている。

通信不良に備えて、予約制でオンライン個人相談コーナーを設けている（語学科目）。

授業時間内での質疑応答や作業を含めることで、Webexによるライブ配信授業における、双方向性の利点を生かして授業の効果を高めたいと考えている。中間・期末のレポートは、授業中に結果をフィードバックする予定である。

Webexでスライドを画面共有しながら、タッチペンでスライドに書き込む形で講義を進めている。タッチペンを用いた方法については、学生から、「対面授業よりも手元で書き込んだ内容がみられるので見やすい」とのコメントが寄せられ、高評価だった。

オンライン授業時、必ず手元で参照すべき資料と、予習復習時にPC等で閲覧すれば足りる資料（印刷不要の資料）とを区分表示することで、学生が必要以上のロードとコスト負担を負うことのないよう配慮したい。

オンライン授業の場合、複数の資料を用いることが、受講者にとって対応しづらい場合もある、ということが学生からの指摘でわかった。授業冒頭で、用いる資料の範囲や順序を指示し、また、画面共有の際にスクロールの速度にも留意しながら、説明を行うことに気を付けたい。

コメントシートにご協力いただき、ありがとうございました！

【執筆責任】 自己点検・評価実施委員会

2021年3月31日発行

【お問い合わせ先】 二松学舎大学 大学改革推進課 TEL: (03)3261-1285

FAX: (03)3261-7413

E-mail: gakumu@nishogakusha-u.ac.jp